

会議名	令和2年 11月度 照山会例会議事録		
作成者	山崎崇弘	司会者	岸上光一郎
開催日時	令和2年 11月14日（土）	開催場所	空海堂
出席者	野中健雄 請関拓也 江上信介 岸上光一郎 栗田裕章 首藤誉幸 東祐太 掘喬善 加行諒平 山崎崇弘 計10名		

### 【 会長挨拶 】

今年度は、コロナウイルスの影響で、今山大師祭が最縮小法要になったり、照山会の研修旅行も中止になったり、祈念モニュメントの除幕式も最縮小開催となるなど大変な年だった。

10月の25-26日で、野中、岸上、首藤の行けるメンバーで、私の曾祖父の出身地である大分県国東市にある両子寺へ。

両子寺には、金剛力士像が2体あり、それぞれが阿（あ）と吽（うん）の音を発しているとされ、インドの言語で万物の根源を象徴する、「あうんの呼吸」の語源になったと言われており、照山会の中でも、この「あうんの呼吸」で、会の皆全員で同じ方向を見て活動したいと考えている。また、理念にあるように「相互礼拝」を大切にし、互いに挨拶を交わし、返事をしっかりしたり、時間を守ったり納期を守ったりと、来年度も理念に沿って組織を運営し、良いことは大切にし、悪いことは改善することを忘れないでいきたい。

### 【 協議内容 】

No.	事項	内 容
1	報告事項 祈念モニュメント完成	住職より伝言 次の世代にも伝えられる素晴らしい祈念モニュメントが完成しました。照山会の皆様にくれぐれも宜しくとのこと。
2	令和2年度収支報告  令和2年度事業報告	加行会員より報告 意見、質問→会の予算の中で、余った残金をどう活用するのか？ 意見：研修旅行に行けなかった会員に返金。 何か地域に還元できるようなお金の使い方を考えるなど。 今後、次年度予算にて検討  会長より報告→今年は会費をもらって組織化し、こだいっちゃんLINEスタンプ作成したり、照山会のロゴも作成といった活動内容でありました、残念ながら大師祭は盛大に行えなかったが、来年度はコロナ対策を講じながら、200パーセントやるとのこと。

3	意見交換 来年に向けた反省と抱負	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎会員：今年は途中参加で、あまり積極的には参加できなかったが、会の皆様と交流できたことがよかった、来年も交流を深めて照山会のために活動したい。</li> <li>・東会員：今年はあまり例会等に参加できないことも多かったので、来年度はレクリエーション活動を通して会を盛り上げたい。</li> <li>・首藤会員：各々が「管理」することを意識すれば、より良い照山会を目指せるのでは。</li> <li>・掘会員：今年は参加できないことも多かったので、来年は積極的に会の活動に参加したい。</li> <li>・加行会員：来年度はイベント事にもっと参加し、照山会の中で目標をひとつ掲げて、それに向けて皆でワクワクしながら取り組んで行けたらいいと思う。</li> <li>・請関会員：今年はあまり参加できずでしたが、来年はもっとイベントに参加していきたい。</li> <li>・吉村会員：照山会の中でラインスタンプの収入事業はできたので、次はお金の使い方を考えるのも必要。例えば、寄付するとか、別の活動に使うとか。</li> <li>・江上会員：別の団体がやっているイベントを盛り上げるために、照山会として何かできることを考えてやるのもありだと思ふ。</li> <li>・栗田会員：来年度は今までにない何か達成するもの具体化していきたい。例会を善正寺でもやってみたい。</li> <li>・岸上会員：照山会は若手で懇親会を行うだけの会では勿体無いので、大師祭における次の10年を見据えて、あうんの呼吸を大切に、来年も楽しく活動していきたい。</li> </ul>
---	---------------------	---

**【各委員会報告・その他】**

○オブザーバー紹介 岡本和真さん（延岡マリンサービス 大正大学地域創生学部卒）

○栗田幹事より講評

全体的になかなか良い活動内容であったのかなと思う。コロナウイルス第3波、第4波、がくることを意識して、そんな中で、できることをみんな考えてやっていく。そして、延岡に還元できるように活動していきたい。

**【懇親会】**

ちゃんこ松恵

**【次回開催予定】**

令和3年1月16日（土）予定